

「東京の福祉保健の新展開 2008」について ～「福祉・健康都市 東京ビジョン」以降の流れ～

平成20年2月4日
福祉保健局

「福祉・健康都市 東京ビジョン」 (平成18年2月)

考え方編

目指すは「新しい自立」の実現

- 自ら積極的に健康づくり
- その人らしい自立へのチャレンジ
- 主体的に生活できる社会の構築



3つの視点

- 「ライフステージ」や「生活」の全体を捉え、ニーズを把握
- 大都市「東京」の特性を踏まえ、課題を克服し、強みを生かす。

- 「民間の力」
「地域の力」
「行政の力」 } の3つの力を生かす

より**効果的**に、より**効率的**に
施策を展開

考え方に基づく事業展開

事業編

平成18年度に展開する7分野23の
重点プロジェクトを収録

- (主な取組)
- 子ども家庭総合センター(仮称)の整備
 - 認知症対策の総合的推進
 - 有料老人ホームの安心利用の仕組みづくり
 - 障害者地域生活支援・就労促進3か年プラン
 - 糖尿病予防・がん予防・こころの健康づくり
 - 花粉症の予防・治療対策の総合的推進
 - 都の役割の転換
 - 都立施設改革

「10年後の東京」 (平成18年12月)

10年後の東京の姿と、それに向けた
施策展開の方向性を明示

(福祉保健局関連の主な目標)

- 世界に先駆けて超高齢社会の都市モデルを創造する

世界に先駆けて超高齢社会を経験する東京で、活力ある高齢者像を新たに生み出すとともに、誰もが安心して暮らせる都市を実現する。

- 意欲ある誰もがチャレンジできる社会を創出する

子どもたちに次代を担う力を身に付けさせ、東京でチャレンジしようとする意欲ある人々に多様な機会を提供するとともに、NPOやボランティアなど多様な活動主体が社会を担うシステムを構築する。

「東京の福祉保健の新展開 2007」

(平成19年1月)

平成19年度に展開する7分野
26の重点プロジェクトを収録

- (主な取組)
- ウイルス肝炎受療促進集中戦略
 - 認知症高齢者に対する新たな施策展開
 - 区市町村障害者就労支援事業の充実
 - 民生・児童委員協力員制度の実施
 - 見守り役の「ゲートキーパー」養成など自殺総合対策
 - 区市町村の主体的な施策展開を支援する包括補助事業
 - 健康危機管理体制の強化

「10年後の東京」への実行プログラム2008 (平成19年12月)

「10年後の東京」の実現に向けて、取組を加速化する3か年のアクションプラン

「東京の福祉保健の新展開 2008」 (平成20年2月)

「10年後の東京」への実行プログラムを踏まえるとともに、ビジョンにおける施策展開の基本的な考え方に基づき、平成20年度に展開する7分野31の重点プロジェクトを収録

平成20年度に実施する重点プロジェクト

【子ども家庭分野】

マンション等併設型保育所の設置促進、要支援家庭の早期発見に向けた取組 ほか

【高齢者分野】

地域ケア体制の整備、認知症高齢者グループホームの整備 ほか

【障害者分野】

東京都障害者就労支援協議会、発達障害者支援開発事業 ほか

【生活福祉分野】

生活安定に向けた低所得者への支援、ユニバーサルデザインのまちづくり ほか

【保健・医療分野】

がん検診実態調査、東京都認定がん診療病院の整備 ほか

【健康安全分野】

新型インフルエンザ対策の強化、新たな大気汚染健康障害者医療費助成 ほか

【横断的取組】

新たな課題を担う人材の育成・確保、社会福祉法人等の財務分析強化事業の実施 ほか

福祉・健康都市の充実